

各校ニュース

酒田光陵高等学校

中村ものづくり事業の小中高連携ものづくり教室

「中村ものづくり事業」とは、酒田市の名誉市民でセイコーエプソン元社長の故中村恒也さんの寄付による酒田市の事業で、大学工学部へ進学する学生への「奨学金制度」や、小学生対象の「チャレンジものづくり塾」・「サイエンス発明教室」などを行っている。

隣接する松陵小学校とは開校以来、学校独自で「ものづくり教室」を開催していたが、今年度からは、小・中・高と連携し、ものづくりへの興味・関心を深めるとともに、地域へのPRを目的に、松陵小6年生56名と酒田一中1年生104名を光陵高校に招き、工業科の4科と情報科を加えた5コースに分かれ「ものづくり教室」を行った。

小学生と中学生のレベルに合わせ、テーマを設定するのは大変でしたが、単にものを作らせて持ち帰るだけではなく、それぞれの学科の特性を活かし、学びの部分を強調した。環境技術科では、小学生に「さまざまな電池を作ってみよう」～電池は化学の力でできている～、中学生には「無機ELを作ろう」～光の原理を学ぼう～、機械科では、「からくりペーパークラフトづくり」～機械の動きを学ぼう～、情報科では、「コンピュータゲームを作ろう」～プログラムの仕組みを学ぼう～など、サブテーマを設定した。

小学生からは、「楽しかった」「面白かった」と好評でしたし、中学生からも「興味が湧いた」「勉強になった」という声が聞かれた。また、小中の先生方からも、工業科のものづくりについて理解をしていただいたことが大成功でした。

